

真萱区報第22-3号(22年10月)

発行責任者：真萱自治会長 高橋健二

過去の神輿風景

1. 祭り実行委員会からのお願い

御手洗神社大祭の日が近づいてきました。神輿担ぎ等、具体的には「祭り実行委員会」が中心になって準備していますが、曳山もある事から成功させるには皆さんの参加が必要不可欠です。協力を是非お願いします。

祭り実行委員会

・祭り気運を盛り上げる為、宮総代、自治会、真和会、真友会、老人クラブ、地区班長の総勢16名で構成、祭り関係全ての段取り、準備を行っています。

第1回委員会：8月29日

- ・神輿担ぎ手35名確保、不足分は関係者等で補充し総勢40名確保できる見通しを得た。
 - ・祭り当日までのスケジュール、役割分担、準備品等の手配について決定した。
- (祭りまでのスケジュール)



9/26(日)	山車の虫干し、巡回道路の樹木枝切
10/16(土)~22(金)	太鼓練習：19時~21時、真萱公民館
10/23(土)	曳山準備：9時、山車小屋集合 お立ち：13時、真萱天神社集合、その後山車小屋に移動
10/24(日)	担ぎ手：7時、御手洗神社集合(予定) 曳山：6時20分集合、6時30分出発(山村自動車)
10/31(日)	祭り打ち上げ：真萱公民館

第2回委員会：9月19日

・神輿担ぎ手42名、山車の引き手31名確保、巡行経路の作成、神輿衣装の手配、各種担当者等を決定した。

2. 行事報告及び今後の予定

市民一斉ゴミ拾い(8月8日)	・地区内のゴミ拾い(草刈)、普段から心がけているせいか、量はあまりありませんでした。
校区供養踊り(8月16日)	・校区全体の踊り手は昨年より少ない感じがしましたが、真萱は例年通り30~40名が参加されました。 ・踊りが簡単なので、最初はぎこちない人も見よう見まねで、直ぐに覚えたようです。来年は初参加者が多ければと期待しています。
婦人部との懇談会(9月10日)	・自治会活動、祭りへの協力のお願いと、婦人部が抱える現状の問題等について率直に話し合いました(議事録等は公民館にあり)。 ・定年制導入、組織のあり方、会計業務の自治会への移管などについて意見交換しました。
校区運動会 10月3日(日) (予定)	・午前中だけの競技です。昼食は打ち上げを兼ねて公民館で行いますので、競技終了後、公民館へ移動して下さい。 ・選手は真和会、婦人部が中心になって選定していますが、皆さん応援をお願いします(プログラム別途は配布します)。


3. 真萱事業関係の進捗状況

松岡西3号線 (井頭～芝尾間) 道路拡幅	<ul style="list-style-type: none"> ・市としては財政難のおり、救急車が入れない道路等を優先して、拡幅を行なう事としているそうです。 ・道路建設課と現地調査を行い協議しましたが、市が工事費を負担する拡幅は、困難との事です。 ・今後の対応については、10月17日(日曜、公民館清掃日)に井の頭、芝尾の皆さんと話し合いをする予定です。
松岡西南北線 (真萱) 離合所 設置	<ul style="list-style-type: none"> ・離合所の必要性、具体的な進め方について、真萱の皆さんと話し合う予定です(11月、真萱班の公民館清掃日を予定)。
片峰 (平山邸周辺) 排水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市関係課と現在協議しています。市も前向きに検討するとの事です。今年度中には、何らかの結論が得られるとの感触を得ています。

4. 片峰地区の下水道計画について(市下水道課に確認の結果)

- ・旧県道部(片峰)の下水道埋設については、設計まで終了しているが、今後10年以内の下水道整備計画には計上されていないそうです。
- ・ただし、①工事負担金の承諾②家屋から下水枡までのつなぎ込み実施(個人負担)③下水道使用料の承諾について了解がとれるようであれば、市としては、地区説明会を行い、実施時期等を今後の計画に反映出来るそうです。

5. 真萱天神社の紹介

変化の様子	由来
	<ul style="list-style-type: none"> ・祭神：菅原道真 ・寛文2年(1662年)真萱の伊東弥左衛門が天満社を再建するという。伊東弥左衛門(1796～1875)は、明治初年には寺子屋で男子生徒35名に読書、算数、習字を授けていた。 ・弥左衛門は六代受け継がれたようであり五代弥左衛門(明治8年没)の墓が門人64名の名により建立されている。また伊東昂氏所蔵の仮名手本(文化7年のもの)がある。 ・弥左衛門一万平一伊東次一昂一白爾 (以上、松岡小学校百年誌から転記) ・現在の拝殿他は平成20年3月全面改築したものです。(拝殿改築、神殿修理、擁壁工事等：費用約2,000万円) ・鳥居は伊藤昇氏(故人)、狛犬は吉田守氏、安藤崇宣氏、石灯笼は伊東白爾氏、加藤修市氏、高橋健二氏、御神灯は平山貞儀氏、飯田昌義氏、賽銭箱は伊藤康浩氏、上木啓治氏、鈴は高橋忠士氏から、それぞれ寄贈頂いたものです。 ・天井絵は加藤伸一氏の指導で真萱の人々で作成しました。

※ 物故者(8月以降) 該当者なし